

エネマネハウス 2017

開催概要報告

(2018年2月2日)

主催：エネマネハウス2017事務局

共催：大阪市

後援：国土交通省／一般社団法人 JBN・全国工務店協会／

一般社団法人住宅生産団体連合会／

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会／

一般社団法人日本建築学会 (五十音順)

エネマネハウスとは

大学と民間企業の連携により、

先進的な技術や新たな住まい方を提案する

ZEHモデルハウスを実際に建築し、展示・実証

January, 2014 @Shinonome, Tokyo

エネマネハウス2014



October, 2015 @Minatomirai, Yokohama

エネマネハウス2015

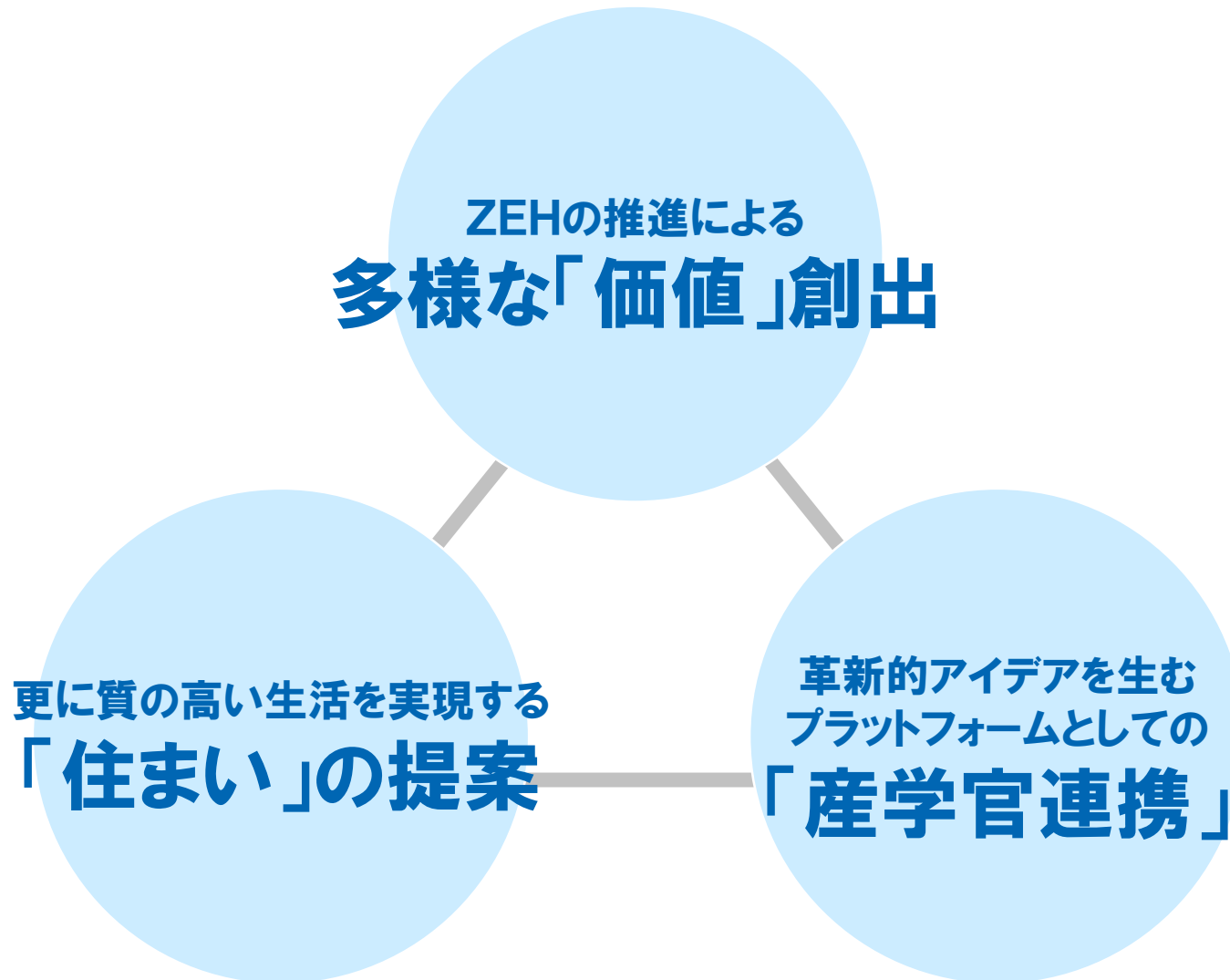


December, 2017 @Osaka

エネマネハウス2017



エネマネハウスの背景とねらい



テーマと前提条件

テーマ

“LIFE DESIGN INNOVATION”

～住まい・コミュニティに多様な新しい価値を創造する～

本格的な少子高齢社会、人口減少社会の到来、環境制約のより一層の高まり、居住ニーズの多様化・高度化などの課題に対応して、快適・健康・省エネで、自然環境豊かな生活や、それを支える低炭素でレジリエントな社会システムを実現するため、建築デザイン手法やIoT、ビッグデータ等の最先端技術の活用により、**新しいライフスタイルや製品・サービスを提案し、住まい・コミュニティに多様な新しい価値を創造する**

前提条件

ゼロ・エネルギー

- 外皮の高性能化及び最先端技術やパッシブデザインの導入等により、標準的な住宅と比べて7～8割程度の省エネルギーを実現する
- 加えて、太陽光発電等の創エネルギー手法の導入により、ネット・ゼロ・エネルギー化を実現する

普及・ビジネス展開

- ZEHのさらなる普及に向けて、消費者にZEHの魅力をわかりやすく伝えるためのコミュニケーション手法や、経済性に優れた建築手法を開発する
- 住宅・建材・住宅設備産業のグローバル展開に向けて、コンセプトや部品、システムの一部／全体を移転可能とする

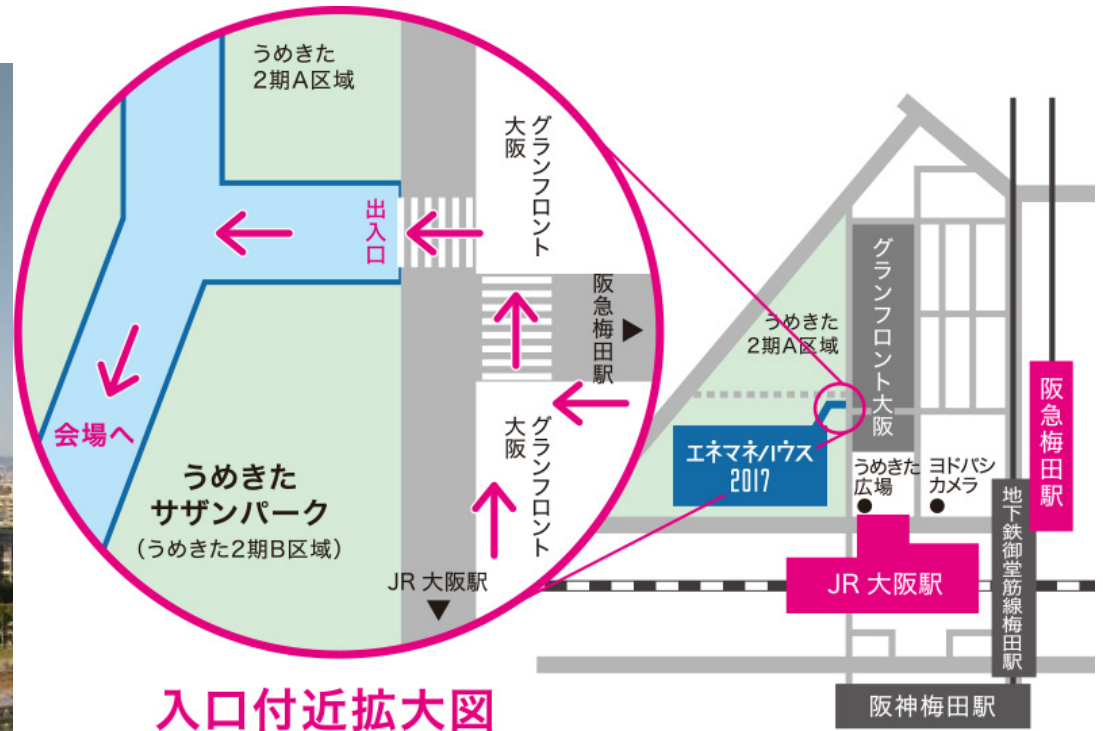
評価項目

大項目	小項目	規定内容
I 審査委員 による評価	I-1. 提案内容及び その実現度・完成度 に対する評価	I-1-1 コンセプト・アイデア I-1-2 省エネルギー効果 I-1-3 技術 I-1-4 実行力 I-1-5 教育・啓発・コミュニケーション I-1-6 将来的な普及・展開
II 測定結果 による評価	II-1. エネルギー	II-1-1 エネルギー消費量 II-1-2 発電量 II-1-3 日負荷率
	II-2. 快適性・健康性	II-2-1 温熱環境(温度) II-2-2 温熱環境(湿度) II-2-3 空気環境(CO ₂ 濃度) II-2-4 光環境(昼光率) II-2-5 音環境(内外音圧レベル差)

総合評価

開催場所

大阪市うめきたサザンパーク(うめきた2期B区域)



エネマネハウス2017審査委員

【委員長】

村上 周三 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長

【委員】

青木 宏之 一般社団法人 JBN・全国工務店協会 会長

赤池 学 株式会社 ユニバーサルデザイン総合研究所 所長

稲沢 裕子 読売新聞東京本社 調査研究本部 主任研究員

奥田 慶一郎 一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事

小田 広昭 一般社団法人住宅生産団体連合会 専務理事

柏木 孝夫 東京工業大学 特命教授

北辻 卓也 大阪市環境局 局長

木場 弘子 フリーキャスター・千葉大学 客員教授

隈 研吾 東京大学 教授

中上 英俊 株式会社 住環境計画研究所 代表取締役会長

注)敬称略、五十音順

協賛企業



SEKISUI HOUSE

AsahiKASEI
旭化成の住まい

 関西電力
power with heart

MISAWA 住まいを通じて生涯のおつきあい
ミサワホーム

archiTech
Building Energy & Environment Research Institute
consulting

 大阪ガス

 硝子繊維協会

JIS
J 建築システム

NICE ナイス
すてきナイスグループ

未来のあたりまえをつくる。
DNP
大日本印刷

 一般財団法人
Nippon Living

実施スケジュール

日程	概要
3月31日～5月25日	● 採択事業者の公募
6月21日	● 採択事業者の公表、事業の開始
8月29日	● 中間報告会
10月23日～11月10日	● エネマネハウス建築(3週間)
11月18日～28日	● エネマネハウス実証(1週間)
12月2日	● 開会式
12月2日～12月17日	● エネマネハウス展示(2週間)
12月16日	● 最終プレゼン、表彰式・講評会
12月18日～22日	● エネマネハウス撤去(1週間)

開催報告

エネマネハウス2017参加大学

	プロジェクト名	参加大学(五十音順)
1	まちや+こあ ZEHコアによる町家・コミュニティ再生モデルの提案	京都大学
2	エネマネRハウス 窓辺のカートリッジとルームガーデンで生まれ変わる すまいとコミュニティ	近畿大学
3	ZEH Village アジア蒸暑気候下の町屋	首都大学東京
4	キセカエハウス 伝統的住環境技術を用いた対話のしつらえ	武庫川女子大学大学院
5	この郊外の片隅に わたしと家の約80年のものがたり	早稲田大学 芝浦工業大学

設計：4カ月間、施工：3週間で5棟完成





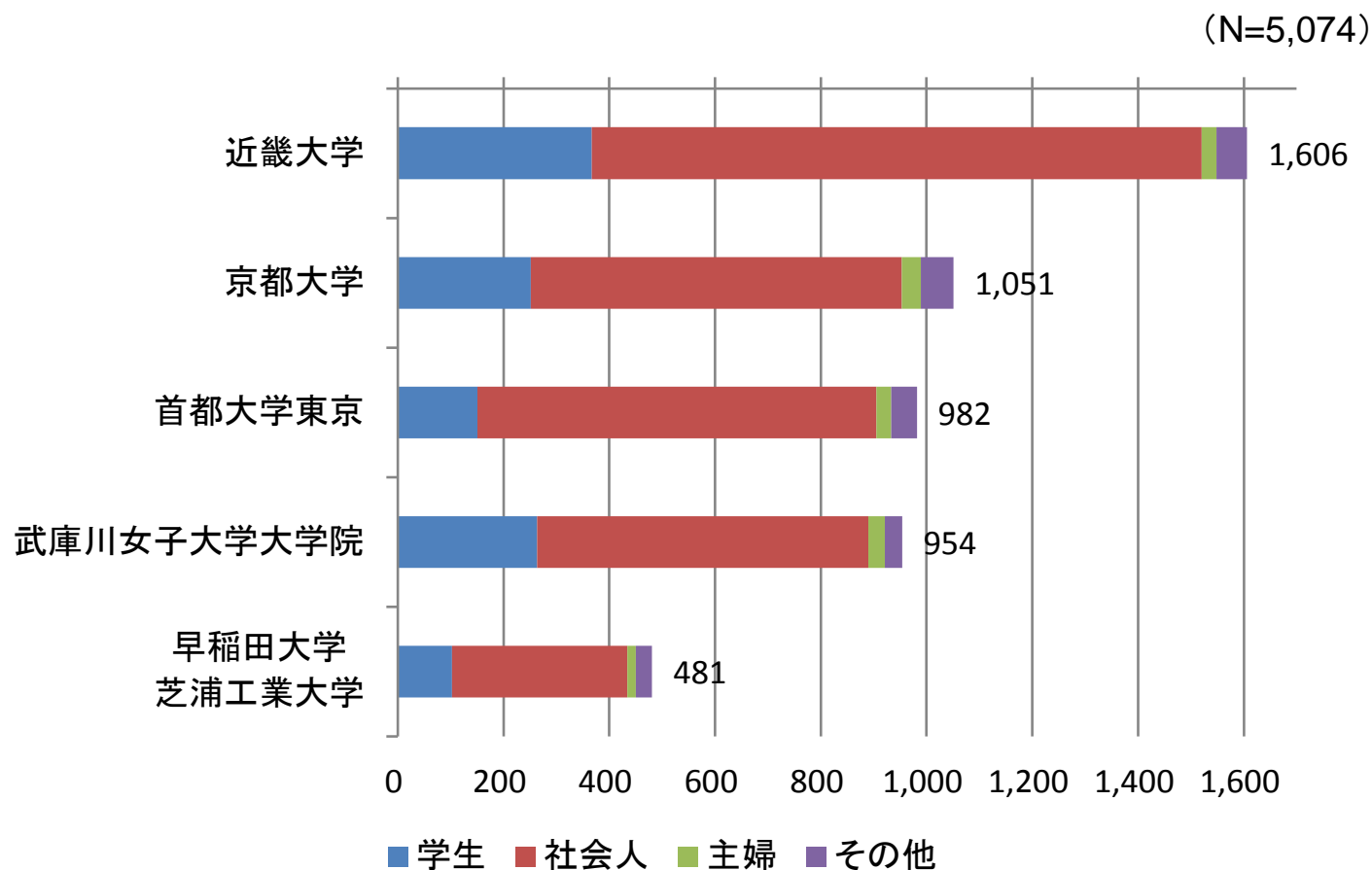
一般公開期間・来場者数

一般公開日	一般公開時間	天気	来場者数
12/2(土)	13:30-16:30		1,092人 (開会式含む)
12/3(日)	10:00-16:30		606人
12/4(月)	10:00-16:30		465人
12/5(火)	10:00-16:30		444人
12/6(水)	10:00-16:30		555人
12/7(木)	10:00-16:30		468人
12/8(金)	10:00-16:30		669人
12/9(土)	13:00-16:30		649人

注)事務局推計

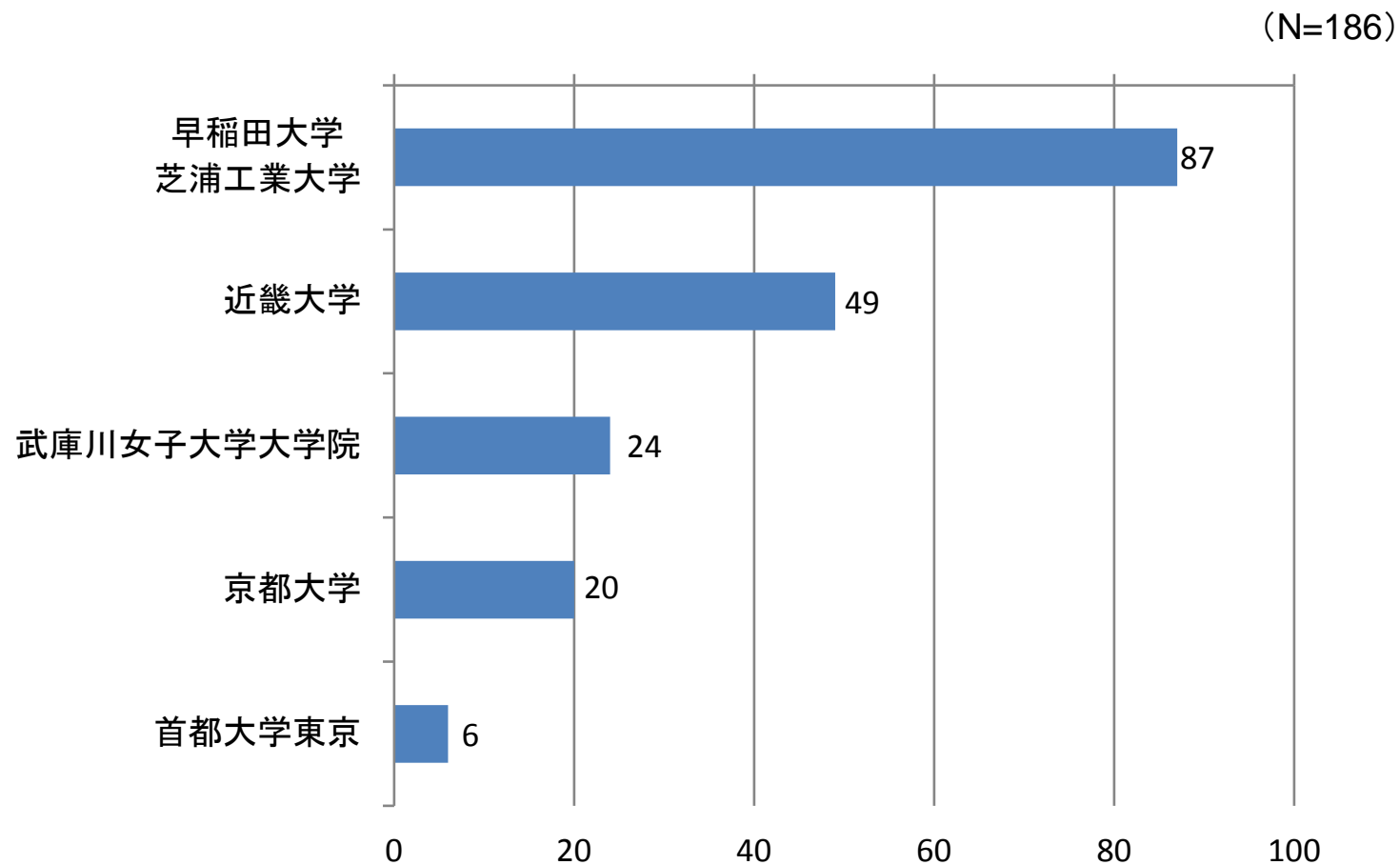
一般公開日	一般公開時間	天気	来場者数
12/10(日)	10:00-16:30		516人
12/11(月)	10:00-16:30		603人
12/12(火)	10:00-16:30		555人
12/13(水)	10:00-16:30		666人
12/14(木)	10:00-16:30		732人
12/15(金)	10:00-16:30		1,308人
12/16(土)	10:00-16:30		930人
12/17(日)	10:00-14:00		648人
合計			10,906人

来場者投票結果



※来場者投票は12月2日(土)13時半から15日(金)16時半まで一般公開期間中のみ実施

Facebook投票結果



※Facebook投票は12月2日(土)13時半から15日(金)16時半まで実施

エネマネハウス2017受賞結果

賞名		評価の観点	受賞大学
最優秀賞		総合評価点が最も高い	京都大学
優秀賞		総合評価点が次に高い	近畿大学 首都大学東京 武庫川女子大学大学院 早稲田大学・芝浦工業大学
People's Choice Award		来場者投票による得票数1位	近畿大学
特別賞 (五十音順)	エネルギー敢闘賞	エネルギー技術のイノベーションに努力した提案	近畿大学
	グローバル賞	アジアも視野に入れた、優れた環境デザインの提案	首都大学東京
	チャレンジ賞	工業化住宅のリノベーションに果敢にチャレンジした提案	早稲田大学・芝浦工業大学
	ライフデザイン賞	屋外環境との親和性に配慮した、新しいライフスタイルの提案	武庫川女子大学大学院

受賞大学の関係者の皆様、
おめでとうございます！



エネマネハウスの魅力・特徴

エネマネハウスの魅力

様々なコラボレーションによる**混血型事業**

互いに刺激し、触発し合い、革新を起こす

エネマネハウス2017における特徴①

提案内容の多様化

新築住宅だけでなく、既存住宅の一部を残しつつもリノベーションを行う提案、自然・気候風土や歴史・文化を活かした提案など、社会課題や生活者のニーズに即したレベルの高い住宅が実現

町家の歴史・伝統文化を継承した、 ZEHコアによる改修



カートリッジという新しい概念・技術による 住宅改修の多様化



国内外の気候風土に即した 現代版テラスハウスとしての長屋



“キセカエ”という柔軟な発想による ライフスタイル変化への対応



80年にわたる“住み継ぎ”のストーリーを 形にした住宅のリデザイン



エネマネハウス2017における特徴②

学生の参加度合いの向上

設計・施工、省エネ計算、環境測定・実証、学生同士の討議、
一般来場者への説明等、住宅・エネルギー分野の将来を担う
全国の学生が一丸となって住宅建築に取り組んだ

住宅・エネルギーを学び



モデルハウスで実証し



そして、成長する学生達



同じ立地条件、同じテーマ、同じ評価基準

エネルギーの制約は、建築の多様性をより豊かにする

住まい・コミュニティの次なる価値の創造に向けて

